

カリフラワー

1 栽培の特徴

- ☆湿害に弱いため、ほ場の排水対策をしっかりと行う。
- ☆段まきによる連続出荷が可能。

2 作型（露地夏まき）

品 種	地 域	6月			7月			8月			9月			10月			11月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
雪まつり パロック	平 場	○-○-----△--△-----□□□□□□																	
		は種			定植			葉折り			収穫			防除			防除		
	中山間	○-○-----△-△-----□□□□□□																	
		は種			定植			葉折り			収穫			防除			防除		

3 ほ場準備

(1) 施肥例（10アールあたり kg）

	肥料名	施肥量	成 分			備 考
			N	P	K	
基 肥 追 肥	完熟堆肥	300				1回目：定植後10～14日頃 2回目：定植後30日頃*
	苦土石灰	100				
	BM畑作3号	140	14.0	22.4	16.8	
	NK化成	20×2回	7.2		7.2	
合 計			21.2	22.4	24.0	

※極早生品種や、草勢が良く葉色が出ている場合は2回目の追肥は不要

(2) 栽植密度

うね幅	株間	条数	栽植本数
140cm	35cm	2	4,080株/a
80cm	35cm	1	3,570株/a

4 育苗

(1) は種準備（3,500株/10a植え付けの場合、予備苗含む）

トレイの種類	10aあたり 必要トレイ数	1枚あたり 必要培土量	10aあたり 必要培土量	備考
セルトレイ 128穴	30枚	3.0L	約90L（3.6袋*）	3,840株
セルトレイ 72穴	53枚	5.4L	約286L（11.5袋*）	3,816株

※培土25L/袋の場合

(2) は種

- 1穴1粒まきとし、は種後は乾燥防止のため新聞紙をかけ軽く散水し、ネット等で覆う。
- 1つでも発芽が見られたら被覆を取り除く。

(3) は種後の管理

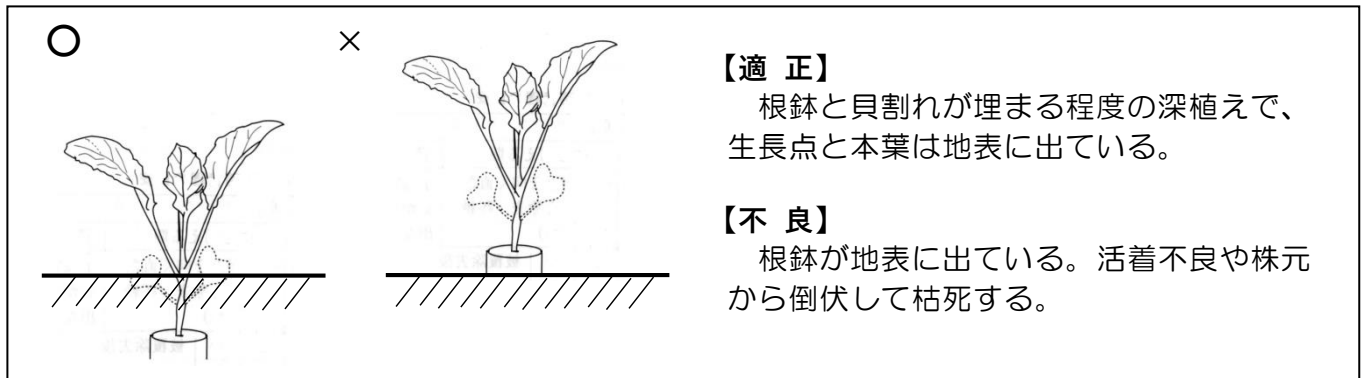
かん水は、朝1回を基本とし、夕方には表面が乾く程度のかん水量を目安とする（天候によりかん水量や回数を調節する）。

浴光管理を基本とするが、晴天時の高温時は苗やけ防止のため、遮光率 40～50%の寒冷紗で遮光する。

5 栽培管理

(1) 定植

適期定植を心がける（育苗日数 25 日程度、葉数 2.5 枚程度）。



※活着するまでの3～7日間は乾燥に弱く萎れやすいため、株元に手かん水をする。

定植後、株元がぐらつく場合や本畑と根鉢が密着していない場合は、株元に覆土をする。

(2) 追肥

1回目：定植後 10～14 日頃、NK化成を 10aあたり 20kg（窒素成分 3.6kg）

2回目：定植後 30 日頃、NK化成を 10aあたり 20kg（窒素成分 3.6kg）

※極早生品種や、草勢が良く葉色が出ている場合は2回目の追肥は不要

(3) 病虫害防除

定植時：植え付け前に苗箱処理薬剤を使用

定植1か月後：苗箱処理薬剤の効果が切れるため、つなぎの防除を実施

出蕾始め：花蕾品質保護のため、葉折り前に防除を実施

(4) 葉折り

日光による花蕾の変色を防ぐため、2回行う。

1回目：花蕾が 500 円玉大になったら、外葉 2 枚を内側に折って花蕾を覆う。

2回目：1回目の葉折りから7日後頃に、花蕾の状態を確認して必要であれば外葉を追加で1～2枚折って覆う。



6 収穫

花蕾の肥大は急激に進むので、収穫遅れに注意する。収穫が遅れると花蕾の隙間が多くなり、商品性が低下する。

花蕾が 500 円玉の大きさから 7～10 日程で収穫となる（収穫適期は花蕾の直径が 15 cm 前後）。

収穫は朝夕の涼しい時間帯で行い、軽く振って水気を切る。

外葉は 7～8 枚付け、花蕾頂部より 2 cm 程高い面で切り揃える。

